※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１６

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	グランステップ現代文２．５（尚文出版） ほんものの力がつく現代語練習帳　ことのは（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・問題集を併用して、小説、随想、評論、さらには韻文などの文章の読解力を育成します。
・的確な学習と入念な推敲によって、表現する力を養いましょう。
・現代語練習帳を用いて、教養としての漢字力、語彙力をつけ、表現の幅を広げることで、自分の考えを的確に伝えられるようにしましょう。

2　学習の到達目標

⑴生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
⑵内容構成や論理展開を的確にとらえ、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養う。また、他者との関わりの中で伝え合い、自分の思いや価値観、考え方を深めることができるようにする。
⑶言葉が持つ価値の認識や言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して社会や他者とかかわる能力とその前向きな態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解し、漢字力や語彙力磨き、一般常識を含めた日本語理解を深める。	文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。また、意図に応じて適切に表現し、正確に読むことで、現代社会を生きる論理的な思考と幅広い視野を身に着ける。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。また、資料との関係を把握して内容や構成を的確にとらえ、できるだけ正確に文章を読解しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	指示内容の把握とデータの統合・評価 ［教材］ 日本語の外へ 孤独な蝶 など	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［　読　］：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係つけて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、正確に読解しようとしている。	定期考査	定期考査	問題演習 小テスト ワーク
	対比関係をつかむ 具体化・推論 ［教材］ 布の力 20世紀とは何だったのか など	a：文や文章の効果的な組み立て方や構成、対比関係について理解を深めている。 b［　読　］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら、要旨を把握している。 c：進んで文や文章の効果的な組立て方や構成、対比関係やについて理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、読解しようとしている。	定期考査	定期考査	問題演習 小テスト ワーク
	多面的思考と 学問的内容の理解 ［教材］ 英雄の器 仮説力 など	a：主張とその前提や反証など情報との関係について理解を深めている。 b［　書　］：多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c：進んで主張とその前提や反証など情報との関係を深め、学習の見通しをもって、多面的・多角的な視点から筆者の主張を捉え、質問に沿った解答を導き出そうとしている。	定期考査	定期考査	問題演習 小テスト ワーク
2学期	実用的な文書の読み取り ［教材］ 伝え合いに関する意見文 日曜日の読書 など	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b［　読　］：関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、正確に読解しようとしている。	定期考査	定期考査	問題演習 小テスト ワーク
	問題提起と結論 ［教材］ 都市の感情 己を放り込む虚構 など	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［　読　］：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、主張を支える適切な根拠を探そうとしている。	定期考査	定期考査	問題演習 小テスト ワーク

※令和４年度以降入学生用

	文章史料・統計資料の読み取り ［教材］ 社会学入門 フェイクニュース など	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[　読　]：関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、正確に読解しようとしている。	定期考査	定期考査	問題演習 小テスト ワーク
	登場人物の心情の推論 ［教材］ センセイの鞄 祝婚歌 など	a：婉曲的な言い回しや風景描写からも、登場人物の心情表現を可能にする働きがあることを理解している。 b[　読　]：登場人物の立場や心情を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：文中の表現に気を付けながら登場人物の心理変化に気づき、内容の解釈を深め読解しようとしている。	定期考査	定期考査	問題演習 小テスト ワーク
3学期	風景描写と人物 ［教材］ 青桐 黄金伝説 など	a：婉曲的な言い回しや風景描写からも、登場人物の心情表現を可能にする働きがあることを理解している。 b[　読　]：登場人物の立場や心情を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：文中の表現に気を付けながら登場人物の心理変化に気づき、内容の解釈を深め読解しようとしている。	定期考査	定期考査	問題演習 小テスト ワーク
	科学技術と人間 ［教材］ 恋するコンピュータ AI に関する記事 など	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]：文章の種類を踏まえて、資料と関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、主張を支える適切な根拠を探そうとしている。	定期考査	定期考査	問題演習 小テスト ワーク

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間